

第 210<sup>期</sup> 株主通信

平成29年4月1日→平成29年9月30日 (中間期)

 KURABO



# 株主の皆様へ

---



取締役社長 藤田 晴哉

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第210期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は高水準を保ち、雇用・所得環境も改善傾向が続くなど、景気は緩やかながら回復基調で推移しました。一方、北朝鮮問題や各地で相次ぐテロなど、地政学的リスクが高まりました。

このような環境下にあって当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「Advance '18」の基本方針である「収益拡大に向けた事業変革」のもと、将来市場を見据えたマーケット志向型事業への転換を図り、高付加価値かつ高収益ビジネスの追求、技術革新と新規事業創出などに注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は789億円（前年同期比0.8%増）、営業利益は24億3千万円（同0.9%増）、経常利益は27億円（同14.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億1千万円（同28.6%増）となりました。

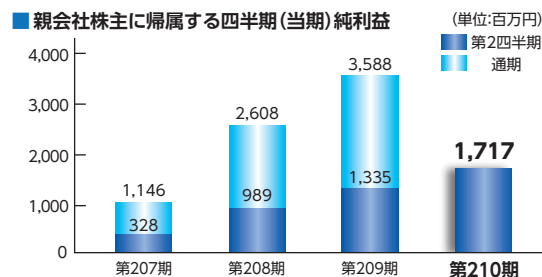
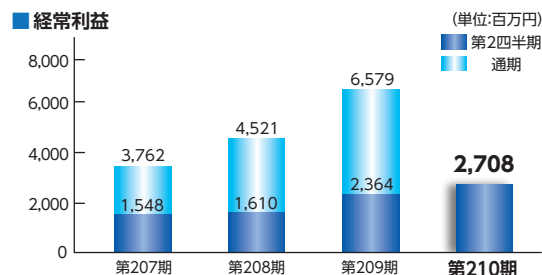
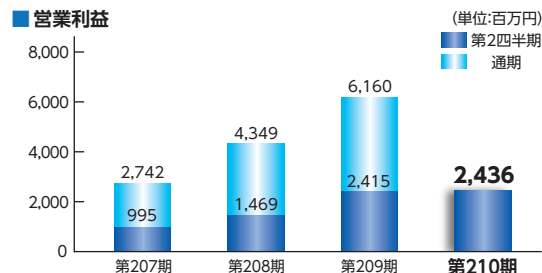
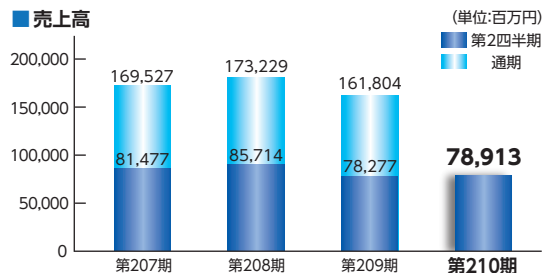
なお、当事業年度の中間配当につきましては、前事業年度と同様見送らせていただくことといたしました。

今後のわが国の経済情勢につきましては、景気は緩やかながらも着実に回復していくことが期待されますが、様々な地政学上の問題やそれらに対する各国の対応によっては状況が一変するおそれもあります。

このような経営環境のもと、当社グループは、環境の変化に左右されない強固な経営基盤を構築すべく、引き続き将来市場を見据えたマーケット志向型事業への転換を図り、高付加価値かつ高収益ビジネスを追求するとともに、コーポレートガバナンスの強化や法令遵守の徹底など、倫理ある事業活動の推進にも努めてまいります。

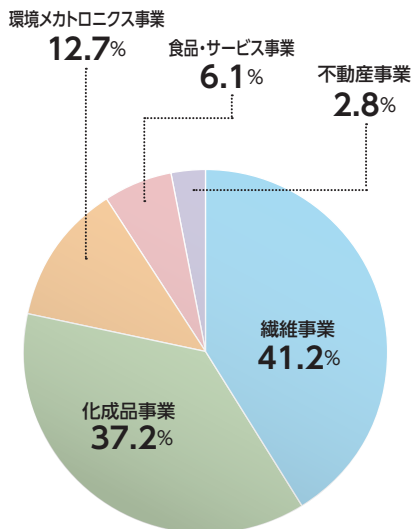
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月



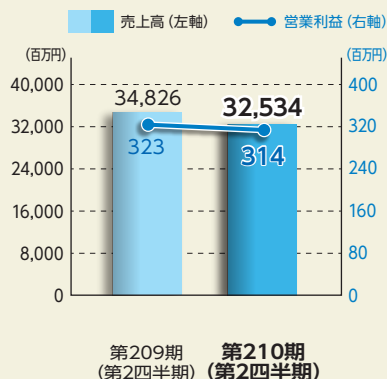
# 当社グループの事業概況

## 事業セグメント別売上高構成比率



総額 789億円

## 繊維事業



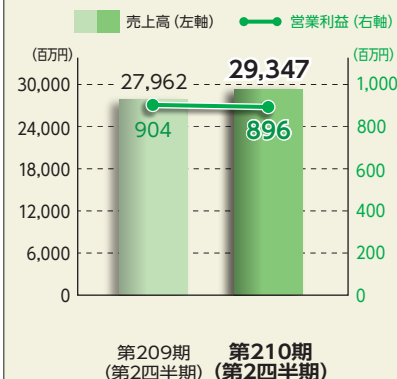
ユニフォーム分野は、需要が安定して推移したことに加え、付加価値商品の販売増加により堅調でした。カジュアル分野は、主力販売先向けが増加しましたが、原糸分野は、全般的に低調に推移し、減収となりました。海外子会社におきましては、東南アジアは輸出・国内とも堅調に推移し、ブラジルも業績が回復基調にあり、増収となりました。

この結果、売上高は325億円(前年同期比6.6%減)、営業利益は3億1千万円(同2.9%減)となりました。

### 繊維事業

- 綿、合繊、その他素材の繊維製品(糸、織物、編物および二次製品)の製造・販売
- 綿、合繊織編物の染色整理加工

## 化成成品事業



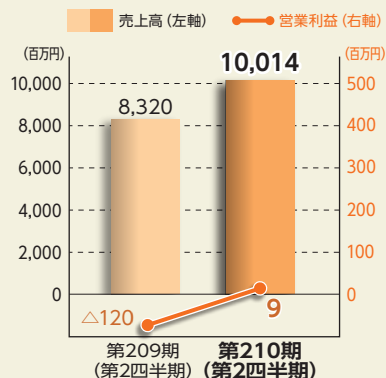
自動車分野では、全体的に底堅く推移する中で、特にフィルター向け不織布などが好調でした。また、ブラジル子会社は、新規顧客への販売が本格化したことにより業績が改善しました。機能樹脂分野は、文具向けフィルムなどが順調に推移し、半導体製造向け樹脂加工品も好調で、増収となりました。住宅建材分野は、外装用化粧材やエクステリア商品が低調に推移し、減収となりました。

この結果、売上高は293億円(前年同期比5.0%増)となりましたが、原材料の高騰などコストアップにより営業利益は8億9千万円(同0.9%減)となりました。

### 化成成品事業

- ポリウレタンフォーム、合成木材、無機建材、機能性フィルム、精密ろ過関連製品、高性能エンブラ製品、不織布および補強ネットの製造・加工・販売

## 環境メカトロニクス事業

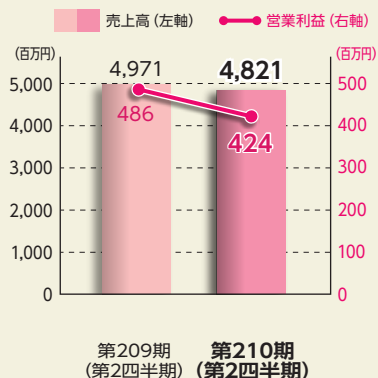


エレクトロニクス分野は、飲料容器の検査装置が低調に推移し、また半導体洗浄関連装置の大型案件が減少した影響もありましたが、基板検査装置や液体成分濃度計が順調で、増収となりました。エンジニアリング分野は、バイオマス発電プラントの大型物件の完工により大幅な増収となりましたが、工事費用の増加により利益面ではきびしい状況となりました。バイオメディカル分野は、核酸自動分離装置が低調に推移し、減収となりました。工作機械分野は、国内販売が順調に推移しましたが、海外は米国や中国向けが低調で、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、売上高は100億円(前年同期比20.4%増)、営業利益は9百万円(前年同期は営業損失1億2千万円)となりました。

### 環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス関連製品の製造・販売・保守
- 環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業
- バイオ関連製品の製造・販売
- 工作機械等の製造・販売

## 食品・サービス事業

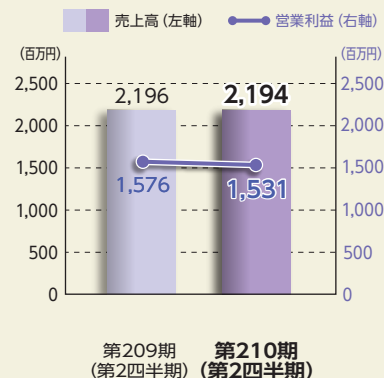


食品分野は、健康食品向け製品が低調に推移しましたが、即席めん具材およびスープ市場向け製品が好調で、売上高は前年同期並みとなりました。ホテル分野は、宿泊部門は堅調に推移しましたが、ゴルフ練習場の閉鎖の影響などにより、減収となりました。この結果、売上高は48億円(前年同期比3.0%減)、営業利益は4億2千万円(同12.9%減)となりました。

### 食品・サービス事業

- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか

## 不動産事業



賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は21億円(前年同期比0.1%減)となり、修繕費などのコスト増の影響により営業利益は15億3千万円(同2.9%減)となりました。

### 不動産事業

- 不動産の賃貸

## ホームページのご案内

》》》 <http://www.kurabo.co.jp>

当社ホームページでは、会社案内やニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」のサイトを開設しています。

当社の開示資料を閲覧できる「IR資料室」、IR活動の日程をまとめた「IRカレンダー」など、株主の皆様のお役に立つ情報を提供しています。



# 連結財務諸表 (要旨)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日)	科目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	84,964	82,964	流動負債	52,154	49,641
固定資産	96,564	98,258	固定負債	33,129	32,769
有形固定資産	51,744	50,924	負債合計	85,284	82,410
無形固定資産	668	632	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	44,151	46,701	株主資本	87,360	87,873
資産合計	181,529	181,223	その他の包括利益累計額	5,601	7,597
			非支配株主持分	3,282	3,341
			純資産合計	96,244	98,812
			負債純資産合計	181,529	181,223

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)
売上高	78,277	78,913
売上原価	65,355	65,964
売上総利益	12,921	12,949
販売費及び一般管理費	10,505	10,512
営業利益	2,415	2,436
営業外収益	739	683
営業外費用	790	412
経常利益	2,364	2,708
特別利益	—	216
特別損失	307	213
税金等調整前四半期純利益	2,057	2,710
法人税等	644	904
四半期純利益	1,412	1,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,335	1,717

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,942	6,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	△1,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,593	△2,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△290	△34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,637	2,581
現金及び現金同等物の期首残高	18,372	16,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,735	19,068

## 繊維事業部

### デザインの可能性を広げるデニム素材 “アクアティック”を販売開始

繊維事業部は、デニムが持つビンテージ感はそのままだ、色移りを気にすることなく白いシャツやスニーカーなどのホワイトアイテムとでも組み合わせが楽しめるデニム素材“アクアティック”を開発し、本年6月から販売を開始しました。

デニムは、色落ちによるビンテージ感が魅力の1つですが、一方で、こすれると他素材へ色移りしたり、濡れると色落ちするなど取り扱いが難しく、デザインやアイテム展開が限定されていました。

“アクアティック”は、通常のデニム同様、加工で部分的に色を落とし、ビンテージ感を表現する一方で、日常の使い方なら色落ちや色移りがしにくいため、オリジナル

の色を長期間持続でき、しかも従来は難しかったホワイトアイテムとのコーディネートだけでなく、白色や淡色素材との組み合わせによる商品企画も可能になります。

今後は、衣料用途だけでなく、帽子やバッグ、カーテン、ソファークバーなどファッション・インテリア雑貨などへも展開してまいります。



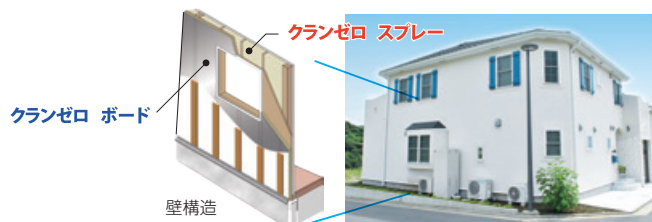
“アクアティック”と白色素材を組み合わせた商品企画も可能

## 化成事業部

### ZEHに対応したノンフロン高性能断熱材 “クランゼロ”シリーズを販売開始

化成事業部は、断熱性能を大幅に向上させたノンフロン硬質ウレタンフォーム断熱材“クランゼロ”シリーズを開発し、本年9月から販売を開始しました。

住宅業界では、2020年までに光熱費が実質ゼロの「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)」を標準的な新築住宅とする政府の目標を受け、住宅に求められる断熱材の性能向上やより効率的な断熱工法のニーズがこれまで以上に高まっています。当社では、これらのニーズに対応するため、断熱性に優れた環境配慮型の新しいノンフロン発泡剤と当社独自の発泡技術を組み合わせることで、



従来の当社製品に比べ断熱性能を最大35%向上させた断熱材“クランゼロ”シリーズの開発に成功しました。“クランゼロ”シリーズは、住宅の外側に張り付けて使うボードタイプと内側にウレタンフォームの原液を直接吹き付けて発泡させるスプレータイプの2タイプがあり、さらにこれらを組み合わせて使うダブル断熱工法も提案してまいります。



環境メカトロニクス事業部(エレクトロニクス分野)

## フラットベッドスキャナが 韓国・華城市郷土博物館で採用

環境メカトロニクス事業部では、大判サイズの図画を画像ファイルに変換するフラットベッドスキャナの海外販売を加速しています。

韓国では、2015年のソウル歴史博物館への納入に続き、本年4月に華城市(ソウルより南へ約40km)の歴史や文化を伝える華城市郷土博物館のデジタルアーカイブ\*用装置として、当社の「A0サイズ



A0サイズ フラットベッドスキャナ

フラットベッドスキャナ」が採用されました。

近年、博物館は収蔵品の保存・展示だけでなく文化資料のデジタルアーカイブによる情報提供という役割も担っています。しかし華城市郷土博物館では、これまで収蔵品である書画・古書・衣装等をカメラで撮影してデジタル化を行っていたため、作業性や保存精度において課題を抱えていました。当社のフラットベッドスキャナは、独自のカメラ・センサー技術によって、文化資料を高速かつ高精度にスキャンすることができ、作業効率向上、高品質化に大きく貢献しています。

\*デジタルアーカイブ:  
文化資料を電子化して記録保存すること。

環境メカトロニクス事業部(バイオメディカル分野)

## O157などの腸内病原性微生物の 遺伝子検査キットを開発・販売開始

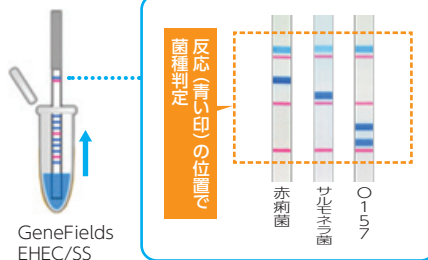
環境メカトロニクス事業部は、遺伝子検査キット“GeneFields(ジーン・フィールド)”の第4弾として、O157などの腸内病原性微生物の遺伝子検査キット“ジーン・フィールド EHEC/SS”を開発し、国内での独占販売契約を締結した極東製薬工業(株)が、本年10月から販売を開始しました。

現在、食品関連メーカーや飲食店などでは、食中毒予防対策などの衛生管理を目的に月に1回以上の検便検査が義務付けられていますが、“ジーン・フィールド EHEC/



ジーン・フィールド EHEC/SS

SS”は、その対象項目である赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌(O157など)の3種類の腸内病原性微生物の遺伝子検査を簡単に判定できる検査キットです。クラボウ独自開発の核酸クロマト用試験紙と試薬を用いて、DNAの増幅と検出の簡便な操作で高感度な検査結果が目視で確認できるため、従来の検便検査方法に比べて検査の時間を大幅に短縮できます。また、高額な解析装置も



GeneFields EHEC/SS

不要であるため、初期費用を抑えて様々な検査機関で導入しやすい検査キットです。



関係会社:倉敷繊維加工(株)

## 倉敷繊維加工(株)初の海外拠点が 中国広東省で操業開始

クラボウグループの不織布製造会社である倉敷繊維加工(株)は、中国広東省佛山市に初めての海外拠点となる「佛山倉敷繊維加工有限公司」を設立し、本年7月に開所式を行い、操業を開始しました。

クラボウグループの中期経営計画では、海外ビジネスの拡大・強化



開所式シーン

を重点施策の1つに掲げる中、「佛山倉敷繊維加工有限公司」は、不織布の複合化と機能加工技術という強みを生かし、地産地消を基本に中国市場への拡販を目指してまいります。主力製品は空気清浄器のフィルター用途を中心とする不織布への機能加工であり、脱臭加工のほか抗アレルギーや抗菌など様々な機能加工にも対応が可能です。品質の優位性を生かして、ユーザー製品の歩留まりや効率向上に貢献し、また日本との連携で高機能品の現地開発も加速いたします。

倉敷繊維加工(株)は、将来的には家電用途だけでなく自動車用途なども視野に入れており、また、海外販売の強化に向けてASEANや欧州諸国にも販売網を広げてまいります。

関係会社:(株)倉敷アイビースクエア

## 倉敷アイビースクエアなどで構成 される繊維産業発展のストーリーが 日本遺産に認定

岡山県倉敷市の繊維産業発展のストーリーが、本年4月、日本遺産に認定されました。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、今回日本遺産に認定された倉敷市のストーリー「一輪の綿花から始まる倉敷物語 ～和と洋が織りなす繊維のまち～」は、倉敷市の繊維産業発展の歴史をテーマとし、31の文化財から構成されています。構成文化財の中には当社創業時の工場建物などをホテルを中心とする複合文化施設にリニューアルした「倉敷アイビースクエア」と、当時の原綿倉庫を改修して作られた「倉紡記念館」が含まれています。これらの建物が構成文化財に選ばれ

たことは、クラボウグループとしても大変名誉なことであり、今後も、その魅力を高め倉敷のブランドイメージの向上に貢献してまいります。

なお、倉敷アイビースクエアでは、現在、大規模リニューアルを進めており、その1つである新設の宴会場「アイビーエメラルドホール」(会場面積:約800㎡)の建設工事の地鎮祭が本年9月に行われました。来年10月には、1,000人規模の立食パーティーを行うことが可能な大型宴会場としてオープンする予定です。



倉敷アイビースクエアの正門

アイビーエメラルドホール イメージ  
※ホール内壁面は岡山産杉材を使用



# 当社の株式に関する事項 (平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 977,011千株
- 発行済株式の総数 242,939千株
- 株主数 16,373名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	11,180	4.93
株式会社みずほ銀行	11,180	4.93
日本生命保険相互会社	9,200	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,529	3.76
株式会社中国銀行	7,265	3.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,936	3.06
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	6,158	2.72
GOVERNMENT OF NORWAY	5,006	2.21
三井住友信託銀行株式会社	4,120	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	3,987	1.76

(注) ①当社は、自己株式16,577千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 当社グループの概要 (平成29年9月30日現在)

### 当社

■創立 明治21年3月9日 ■本店 岡山県倉敷市本町7番1号

### ■主要な事業所

区分	名称	所在地	
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区	
	東京支社	東京都中央区	
	技術研究所	大阪府寝屋川市	
工場	織維	丸亀工場	香川県丸亀市
		安城工場	愛知県安城市
	化成品	徳島工場	徳島県阿南市
		寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鴨方工場	岡山県浅口市
三重工場	三重県津市		

### 当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 4,642(-)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー1,107人がおります。

## 当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキ・ド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マノンガル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
広州倉福塑料有限公司	

(注) 上記記載の重要な子会社12社を含め、当第2四半期の連結子会社は25社、持分法適用会社は2社であります。

## 当社の取締役 (平成29年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長	藤田 晴哉	取締役 執行役員	川野 憲志
代表取締役 常務執行役員	北 畠 篤	取締役 常勤監査等委員	岡田 治
代表取締役 常務執行役員	馬場 紀生	社外取締役 監査等委員	宮 二朗
取締役 執行役員	本田 勝英	社外取締役 監査等委員	茂木 鉄平
取締役 執行役員	稲岡 進	社外取締役 監査等委員	新川 大祐
取締役 執行役員	藤井 裕詞		

(注) 社外取締役(監査等委員)宮二朗、茂木鉄平および新川大祐の3氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

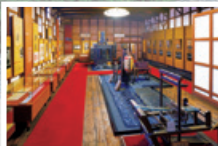
## 当社の執行役員 (平成29年9月30日現在)

専務執行役員	佐野 高司	執行役員	中村 潔
常務執行役員	藤原 秀則	執行役員	相徳 朗人
常務執行役員	八木 克真	執行役員	平田 政弘
常務執行役員	西澤 厚彦	執行役員	中川 眞豪
常務執行役員	安川 洋		



未来への礎として  
倉紡記念館は、昭和44年3月、  
クラボウの創立80周年の記念事業の一つとして  
建設されました。  
“歴史を顧みることが、未来への礎”  
創業以来クラボウに貫かれている考えが  
生んだ記念館です。

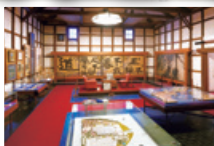
# 倉紡記念館



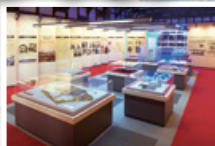
第1室 | 明治時代  
(1888~1912)



第2室 | 大正時代  
(1912~1926)



第3室 | 昭和時代  
(1926~1945)



第4室 | 昭和・平成時代  
(1945~)



第5室 | 年表コーナー

## 倉紡記念館

倉敷市本町7番1号 (JR倉敷駅より徒歩15分・倉敷アイビースクエア内)  
TEL (086) 422-0011 ●公開時間 AM. 9:00~PM. 5:00





倉敷紡績株式会社

<http://www.kurabo.co.jp>

---

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 単元株式数 1,000株
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 基準日
- 同連絡先
- (1) 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- (2) 中間配当金 毎年9月30日 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 公告の方法
- 電子公告の方法により行います。
- 公告掲載URL <http://www.kurabo.co.jp>
- ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

---

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- ※平成23年5月3日に倉敷機械株式会社との株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、みずほ信託銀行株式会社が口座管理機関となっている特別口座につきましては、平成28年11月29日より、口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社に変更しております。